

VISTA 5 ユーザーレポート

株式会社 SCI 様

VISTA 5



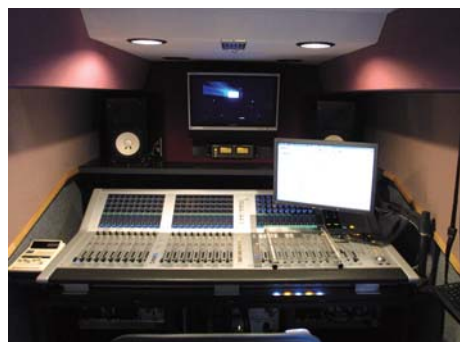
小型音声継車 4号車に VISTA 5 を採用



株式会社SCI
取締役 田中 真也

小型中継車の要望

昨今、限られた中継・録音スペースでの仕事も多くなってきました。車両も大型よりは小型、しかも作業的に制約のない音声継車の要望が現場より出てきました。大きなイベント会場では大型車でも問題ないのですが、街中のイベント会場やライブハウスなどでは大型車だと駐車すらできない場合もあります。このような状況に加え国内の道路事情や駐車スペース等も考慮し、車両はマイクロバスをベースに製作することにしました。本来、車内のスペースはなるべく広くしたいところですが、「小型であること」を最優先に考え、標準車をさらにカットし全長6m以内の車両としました。



小型で軽量、しかも音が良い STUDER

当然、音声卓は省スペースが絶対条件でした。しかし小型でも扱う回線は64トラックのマルチ収録を快適に作業できるスペックが必要で、録音・収録のみならず、放送の仕事もできる仕様を目標にしました。Vista 5を採用した理由は、小型で軽量という条件を満足でき、加えて音質が良い点でした。デモ機で実際に音を通し、STUDERのアナログ卓での実績を引き継いだ音質を実感、この点を高く評価しました。ヘッドアンプは信頼できるもので、あらゆるジャンルの音楽に適していると思います。また、アナログ卓では不可能だったステージボックスを使用した光MADIでの伝送は、音質だけでなく現場での作業効率の向上に貢献しています。また、ヘッドアンプ入力数や AES/EBU、MADI 等の入出力は、オーダー時に好きな種類と数を決められるので無駄のない仕様が組みました。今回はアナログ 64ch、AES/EBU (64ch)そしてMADIの入出力でオーダーし、ほとんどの音声収録に対応できるようにしてあります。HA入力をステージボックス仕様として、車両の移動時は車内作業スペースに固定し、使用時は車外に出して使うため、結果的に車両の小型化の要因の一つにもなっています。DSPとI/Oフレームは、ファンの音量が低いのでラック室も不要で、デスクの足元にすっきりと収めています。

操作性の簡易さ

操作性の簡易さも採用理由の1つです。実際に事前の簡単な説明だけでいろいろな方々に使用していただいています。あらかじめ仕込んでおいた設定を呼び出せば、全くジャンルの違う仕事でも簡単にセッティング変更ができますし、内部ルーターやフェーダーの並びを変更する際も視覚的に大変わかりやすいため、ライブでのとっさの回線変更にも簡単に対応することができます。

Vista 5は「大型よりも小型。しかし機能は十分に」という今回の車両コンセプトにマッチしており、デジタル卓のメリットを最大限に生かした優れたものと言えます。2008年1月から稼働していますが、これといったトラブルもありません。これからも最新鋭の機能のバージョンアップに期待しています。

